



La faux

-魔孔聖母-

"Fate/GrandOrder"
respect book
for adult only

これは私の
所見なのですが…

剪定事象をただ
彷徨うだけのはずの
貴女がここに至れたのは…

おそらく^{あちらがわ}編纂事象に
何らかの「縁」が生じたが
故でしょうな…

それにしても…

なかなか
興味深い…

持ち主が
変わるだけで…

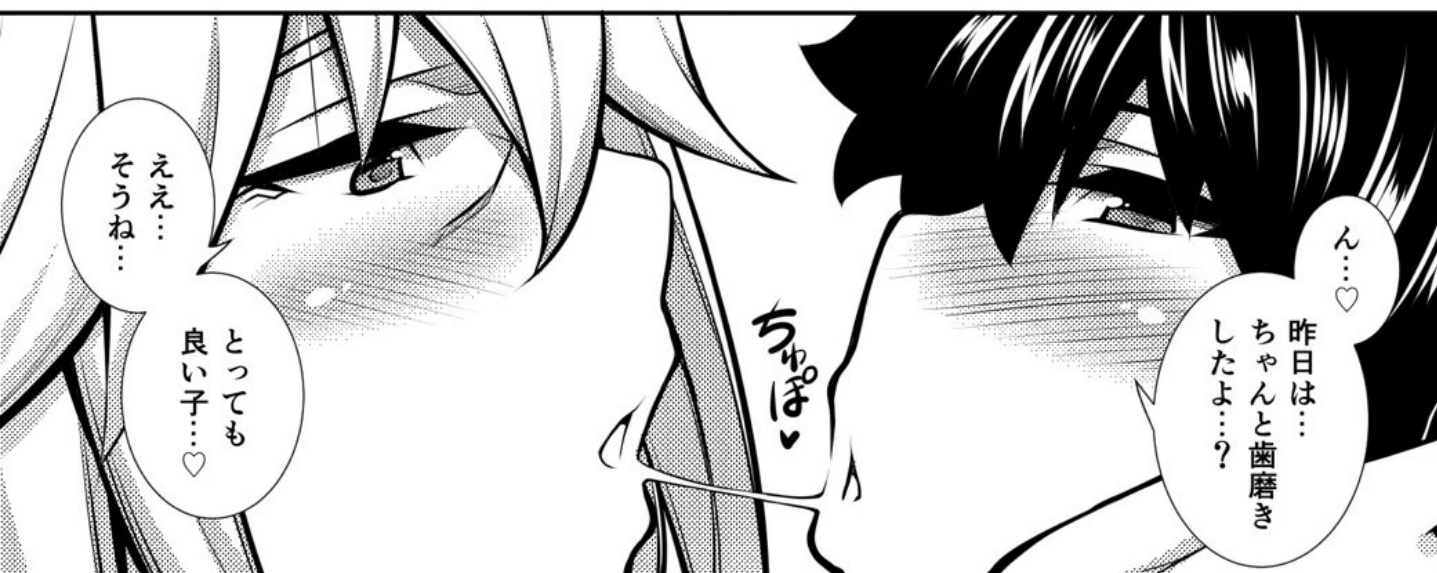
此程に位階が
違うとは

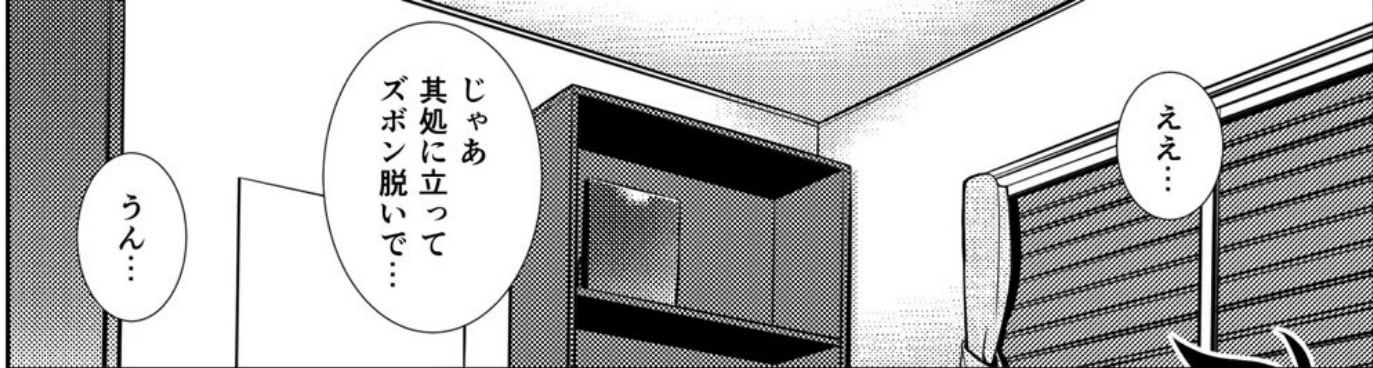
さて…

^{店仕舞いの場}
崩壊する特異点にも
関わらず貴女のような
賓客を迎える機会を
得た訳ですが…

この望外な榮譽に
朽ち逝くこの身で
如何にして応えた
ものでしょう…？









じゃあ…
挿入れるね…？

くちゅ

ズン

ぞくぞく

んん

んん

ひん

ママの膣内…
あったかい…♡

ヌルヌルが…
キュウキュウしてて…

オチ○チン…
幸せえ…♡

ん…ふふ…♡
ママもとっても
幸せな気持ち…♡

さあ…
動いて頂戴…♡

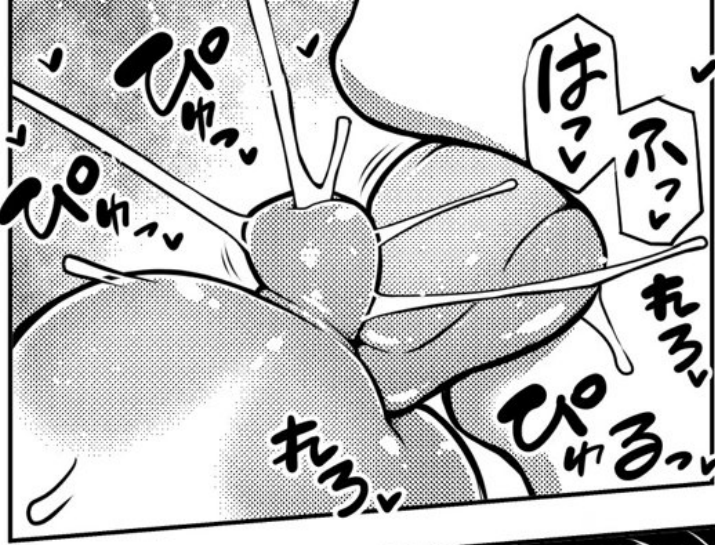
はっ
ぢゅぽ
はっ
ぢゅぽ
はっ
ぢゅぽ

きん

きん

んん

んん









ちゃんと
覚えてるなんて
お利口さんじゃない♡

わ わ

そうよ♡
マスター
弟ちゃんの
お姉ちゃんだよ♡

わ…

わ…



てかあんた…
全身汗でベタベタ
じゃない？

丁度良いから
一緒にお風呂
入ろっか♡

えっ
お姉ちゃんと
一緒!?

はあ



ホラっ
さっさと行くわよ
マスター
弟ちゃん♪

ま…待ってよ
お姉ちゃん…っ

ところでその怪我
どうしたの？

いいから
早くして

ぎゅ

ジャネット…



そ…♡なんなら
今もお股の間で
イラついでるソレも
面倒見ようか？

ママ
母さんにも
負けないって自信
あるんだけど…♡

ひそ

ひそ

ひそ

どきどき

!!



アハ…♡
脱衣所来た途端
即ハメとか…♡

それに小さい形でも
エッグいピストンは
相変わらずなの
ウケるんだけど…♡

お姉ちゃん…♡

お姉ちゃん…♡

はっ
はっ

はっ
はっ





ええ…勿論
付き合ってあげる
わよ…

最期まで



ああっ♡
良いわっ♡
何て遅しいの
坊やっ♡

あん♡

はん♡

あ♡

うあ…
スゴ…♡

母乳ってこんな
噴き散るもん
なの…?

大人顔負けの
頑張り屋さん
チ○ポにいつぱい
突かれてえ…♡

ママ…とつても
幸せなのお…♡

こんなの子供に
振る舞いながら
子作りなんて…♡

あん…♡
ジャネット…♡

とんだ
淫乱ママんだわ…♡

んも♡

ん♡

ん♡

ん♡

ん♡

ん♡

ん♡

ん♡









そう令呪よ
ジャネット…

ようやく
時が満ちたわ…

マスター
弟ちゃん…
それって…

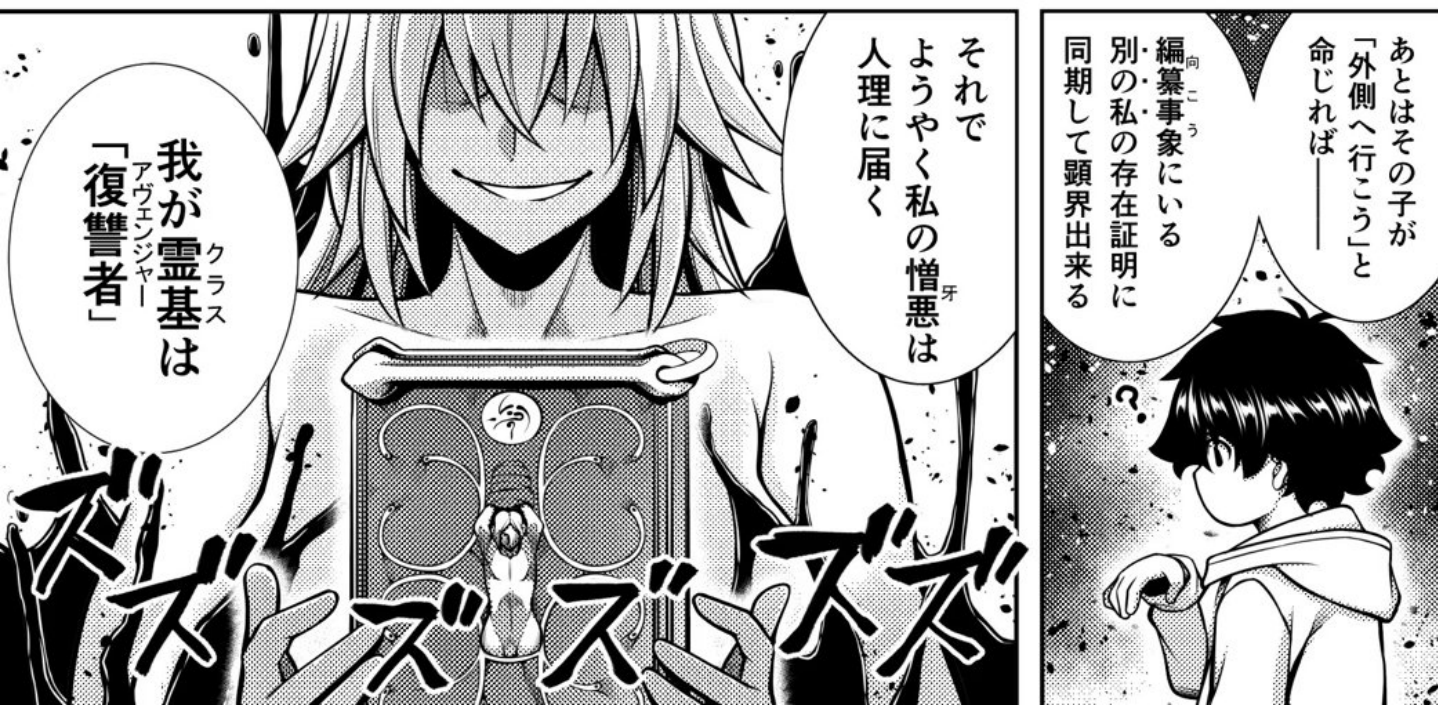


この廃孔^{イド}で散り際の
「伯爵」が縫い止めていた
カルデアのマスターの
写真^{アバター}—

それにだって経路^{パス}も
あれば魔術の行使権も
備わっている…

自我を持たせれば
外側から令呪の補充も
受けられるし—

魔力供給を通じて
仮契約も結べる…



あとはその子が
「外側へ行こう」と
命じれば—

編纂^{向こう}事象にいる
別の私の存在証明に
同期して顕界出来る

それで
ようやく私の憎悪^牙は
人理に届く

我が靈基^{クラス}は
アヴェンジャー
「復讐者」

邪竜千年戦争

オルレアン・ド・ラポカリープス

固有結界

我こそは
人理滅界の
求道者也

クラス:アヴェンジャー
真名:滅界聖母
(真)イザベル・ウトン

※以前にジルが
感じ取った気配は
コイツだったのね…

それ…
螺旋城教本
よね…?

青髯^{ジル}の聖遺物を
我が物にして――

かつての聖杯^{わたし}に
注がれた憎悪^{おが}を完遂
させた異聞帯の魔術師が
貴女の正体って訳?

※「La fau x 奉公聖母」より

ええ

でも所詮は
剪定事象の一つに
過ぎなかったわ

私が灼き尽くした
人類史はどれもカルデアが
存在しなかったから

どれも？

ひよつとして
あの女剣豪と同じ
能力を持つてるの…？

何度もこの
瞬間が来るのを待ち
焦がれていたわ…

復権裁判で
あの娘の汚名を
雪げた喜びも
つかの間

よりによって祖国^{フランス}が
あの娘を「聖女」なんて
ものに祭り上げた
あの日から…っ

国家が

時代が

歴史が勝手に
引き起こした災いの
後始末を—

国家が

時代が

歴史が勝手な
理想と解釈を
切り嗣いだ英霊^{モザイク}に
押し付ける人理…っ

愛娘はそんな
狂った仕組みの下で
延々と消費され続ける
存在にされたのよ

かつての
百年戦争の
ように

灼かない道理が
何処にあると
いうの？



お姉ちゃんとの
お話が終わったら
すぐに行くからね…

ええ…そうね
私の可愛い
坊や…



ねえ…そろそろ
お外に行こう？



ママ…



この領域を突破した
手傷で死に体で部屋に
現われた時――

殺さずに魔力供給まで
させて生かしていたのは
かつての貴女に敬意を
持っていたから…



ジャネット
貴女も一緒に来る
でしょう？

貴女は私の知る
あの娘とは違うかも
だけどこれだけは
解ってる

私と同じ憎悪を胸に
刻んだ者…



竜の魔女



今こそ人理の
軌を断って本来の
在り方を全うする
のよ



あらごめん
なさい

ここに来て
黒歴史をつつかれて
つい業炎が滑ったわ...

でもこれで
向こうへ行く算段は
無くなったわね

お前...っ
自分が何をしたか
解って

勘違いしてる
ようだけど

確かに私はあんたや
青髭^{ジル}と同じ憎悪から
生まれた存在...

けど所詮は
借り物の感情で
繕った在り方に縋った
贗作に過ぎないわ

そんな私が
わざわざここに
出戻ったのは

どんな英霊も
「在り方」を超えた
「願い」を持てる事を

うんざりする程の
付き合いの中で
教えてくれた馬鹿が
人理に在るから

そいつを煩わせる
悪縁は此処でスッパリ
断ち切らないとね

カルデア最後の
一仕事とせめてもの
親孝行よ

この廃孔で諸共に
消える最後の瞬間まで
その痛癢に付き合って
あげるわ

母^{ママ}さん



La faux

-廃孔聖母-

発行元：STUDIO TIAMAT

発刊日：2024/12/30

配信元：FANZA

E-mail：tanabe@studiotiamat.sakura.ne.jp

URL：http://studio-tiamat.sblo.jp/

※無断閲覧・複製・転載禁止